

[ジェンダー平等推進へのわたしのコミットメント]

長利京美さん 株式会社新日本科学

わたしは、
鹿児島県における女性活躍リーディングカンパニーの役員として、
職場におけるジェンダーギャップを改善し、企業の持続的成長につなげるために、

○ダイバーシティ経営の1丁目1番地である女性活躍推進の重要性を伝える伝道師になります。

- ・当社は、2007年から、「働きやすい職場づくり（ライフステージやライフイベントに合わせた柔軟な働き方が実現できる会社、働きがい追及できる会社）」に取組み、女性活躍を経営戦略と位置づけ、50を超える改善、改革を行った。その結果、結婚、出産が理由の退職はゼロ、産休・育休からの復職は100%。そして純利益は2007年の6億から、2021年36.6億を大きく向上した。
- ・当社は15年間、女性活躍に取り組んでいるので、皆働き方に満足している。
- ・鹿児島県で開催されるセミナー等で他社の女性活躍の状況をお聞きすると、課題があり、不満を持つ方が多い。
- ・鹿児島県の調査では、「女性の管理職登用を特に増やす考えのない、経営者は47.8%。
- ・15歳から64歳の人口は、1995年から数十万単位で減少している。このような社会環境の中で女性は持続的成長の実現に向けた「最大の潜在力」。
- ・企業には人権や環境、雇用などに配慮する社会的責任（CSR）があり、ジェンダー平等、ダイバーシティは「選ばれる企業」の重要な指標。

ジェンダーギャップ改善、ダイバーシティの重要性にきづかないはずはない。

企業トップのリーダーシップと覚悟があれば、職場でのジェンダーギャップは改善し、個人の幸福と企業の成長につながると確信している。